

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8375
担当部課名	土木部	道路管理	課	境界
事務事業名	道路境界確定事業		事業コード	32220

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	3	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名		第2節	安全でゆとりある道路の整備	~63
施策名		第2施策	身近な生活道路の整備	

## 2 実施根拠及び関連法令等

道路法
-----

## 3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
道路境界協議申請に基づき、道路境界を確定する。	市道に隣接する土地所有者
	対象数
	209件
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
道路境界確定事業 92,174千円	なし
道路境界確定業務委託等 86,423千円	
境界標等消耗品費 5,509千円	
立会通知等印刷製本費 205千円	
マイクロフィルムリーダー修繕料 37千円	
実施件数 209件 延長6,701.76m	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次
	年度~
	年度
	なし

## 4 評価指標

指標名	市道境界確定本数状況	市道境界確定延長状況	市道境界確定面積状況
指標式	市道境界確定本数 / 市道総路線本数 × 100	市道境界確定延長 / 市道総路線延長 × 100	市道境界確定面積 / 市道総路線面積 × 100
指標設定の意図	道路境界確定路線を数値化する	道路境界確定路線延長を数値化する	道路境界確定路線面積を数値化する

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	76	76	a 77	b 78	78	
指標	91	91	c 91	d 92	92	
指標	90	90	e 90	f 91	91	
事業費	決算(予算)額	107,487	95,157	92,174	95,156	86,699
	人員・時間数	4人	4人	4人	4人	4人
	人件費	33,680	33,680	33,680	33,680	33,680
	その他経費					
	合計	141,167	128,837	125,854	128,836	120,379
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか								
評価	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 99.5%						
B ▼	B:一部達成していない(100%> 80%)							
	C:達成していない (80%> )							
a	77.0	$\times 100 = 99.3\%$	c	91.4	$\times 100 = 99.8\%$	e	90.4	$\times 100 = 99.4\%$
b	77.5		d	91.6		f	91.0	
理由:	昭和27年度から実施している、一般申請に基づく道路境界確定事業は毎年確実に、未決・不立・除外個所を確定させている。							
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か								
評価	A:適応している	理由: 不動産購入・家屋の立替・土地の分筆登記・国税の土地による物納などのため、境界協議申請が毎年約200件提出されている。						
A ▼	B:一部適応していない							
	C:適応していない							
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か								
評価	A:妥当である	理由: 工事等に伴う、境界標の亡失・損傷への対応及び未決路線等の確定困難な確定業務を遂行し成果を上げているので、費用対効果は妥当である。						
A ▼	B:一部妥当でない							
	C:妥当でない							
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か								
評価	A:代替の可能性ない	理由: 市道の境界確定業務は、市が実施していくことが適当である。						
A ▼	B:代替の可能性低い							
	C:代替の可能性高い							
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか								
評価	A:満足できる	理由: 今後とも、未決路線等への対応など、時間をかけた粘り強い取り組みが必要である。						
B ▼	B:一部満足できない							
	C:満足できない							
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か								
評価	A:有効である	理由: 市道の境界を確定することにより、身近な生活道路の整備をはかる。						
A ▼	B:一部有効である							
	C:有効でない							

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 現地と公図の不整合等で確定困難な地域の公図修正などをはかり、確定率の向上につとめる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> 緊急に境界査定や復元を要する申請者は、申請者側の費用負担による査定や復元をおこなっているが、今後の、財政難のなかで、費用の申請者側負担の拡大も検討していく必要がある。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明 相模原市では、209件の平成13年度査定申請があった。査定申請中43件(20.6%)が申請者側負担でおこなった。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--